

中津高等女学校校歌 古歌

一、旭岡の花の蔭

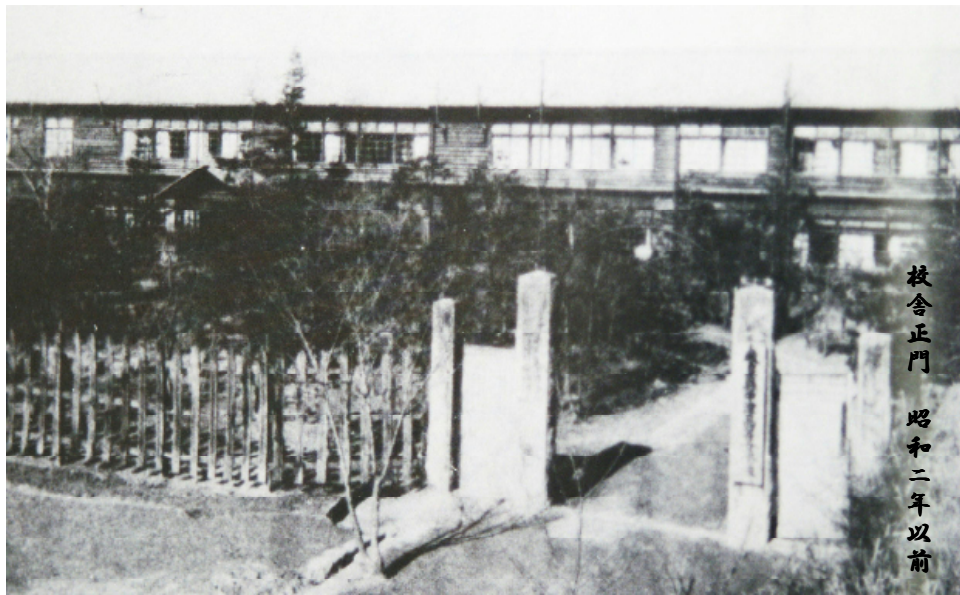
中津川辺の月のもと
四季の眺めをみなここに
集めてたてる学びの舎

二、春を待ちえて咲き匂ふ

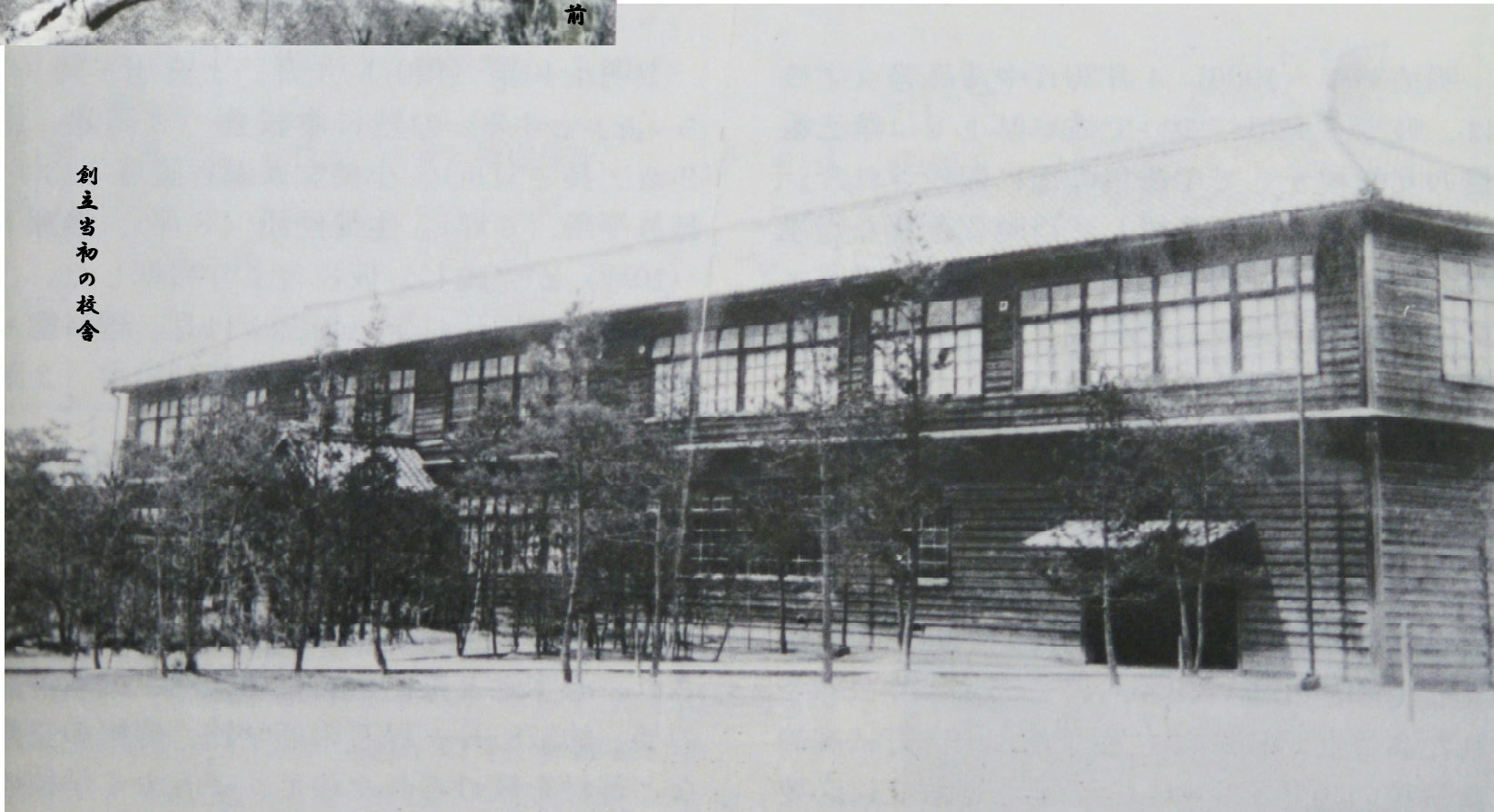
花を学びの友とせん
秋てる月のくまなきは
我等が心のかぐみなり

三、すめら御国の女てふ

道をたどりてまよはずも
送りむかふる春秋を
むつみて共にいそしまん



校舎正門 昭和二年以前



創立当初の校舎

明治四一年 一九〇八年 二月、紀元節式後の
成績品展覧会開会式において、校友会歌とし
て合唱した歌が、事実上の校歌として二〇年
以上歌い続けられてきた。作詞作曲者は伝え
られていない。
「旭陵百周年」より